

横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール
令和2年度 事業報告

令和3年3月

KSSC横浜ウォータープロモーション

1. 基本方針

(1) 趣旨

市民の健康増進及びスポーツの振興を念頭に、前年度より更に利用者に向けたサービスの向上を図りました。管理運営経費についてはコロナ禍の中で休館も生じたため構成団体の各社と連携しコスト削減に取り組み、営業再開後は安心・安全を維持しつつ安定した管理運営に留意し、利用者の視点に立った満足度の高い施設運営を実施しました。

また、市民の皆様が安心して利用いただけるよう「健やかで元気と活力を生む生涯スポーツ・レクリエーション施設」を合言葉として管理運営に取り組みました。

ア プール施設を活用した市民の健康増進とスポーツの普及振興

スポーツ・レクリエーション等の振興及び心身の健全な発達に寄与するべく、公共性を保ち、どなたでも利用いただけるスポーツ施設であるよう心掛け、管理運営を行いました。

イ 安全、安心、快適性の確保

構成団体の各社が培った経験と技術を駆使し、利用者が安心、安全に施設を利用できるよう取り組み、また3施設を相互に利用した際、同じサービスを提供できるよう管理運営を行いました。

ウ 地域との連携、協働の推進

スポーツ関連を学ぶ専門学生の教育実習受け入れを行い学びや気づきの場を提供し、近隣学校の水泳部へのコース貸出しを行い、地域のスポーツ振興を推進しました。

(2) 管理運営の基本方針

- ・サービスの向上を図り、市民の生涯スポーツの推進に取り組みました。
- ・地域大学の水泳部へのコース貸出による連携でスポーツ活動の活性化に取り組みました。
- ・エンジニアリング力を発揮させ、安全・安心・快適な施設運営を行いました。
- ・環境保護に配慮し、社会的責任活動に積極的に取り組みました。

(3) 令和2年度方針と数値目標

ア 令和2年度基本方針・・・「安心、安全、快適な環境づくり」

セキュリティ関連設備のメンテナンス

イ 数値目標（年間総利用者数）

平常時の運営による利用者数を設定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の施策として港南プール及び金沢プールは4月から6月末まで3か月の休館があり、7月からの営業再開後も利用人数に制限を設けての運営管理を行ったため、目標数値は未達となりましたが、利用制限の中においても感染拡大防止対策を行った上での利用人数変更、利用時間は2時間制を行い可能な限り多くの方に利用して頂けるよう努めました。

なお、保土ヶ谷プールは大規模修繕により4月から3月31日まで休館となりました。

	目標	実績	達成率	備考
港南プール	12.5万人以上	39,026	31.2%	
保土ヶ谷プール				令和2年4月1日から令和3年3月31日まで休館
金沢プール	18万人以上	36,264	20.1%	

2. 管理運営体制・職員配置について

(1) 趣旨

4社共同事業体の各社の持つノウハウを共有して、専門的な知識と経験豊富な人材を効果的に配置し、安定した事業運営を行いました。また効率的な管理運営と計画的な保全・修繕計画に基づき、中長期的な視点による施設の資産価値向上を図りました。

(2) 具体的取組内容（実施事項）

ア 共同事業体内の役割と主な分担業務

施設の運営と設備機器の維持管理においては統括責任者の視点のみではなく、利用者からの意見・要望を情報共有し大小にかかわらずより良い利用環境となるべく修繕等で改善しました。

イ 組織運営体制（人員配置等）

プール運営会議を月に1回開催し、情報共有と問題や課題について協議し、管理運営に反映しました。また日常業務の中でグループウェアを活用し効率的な情報伝達と緊密な連絡体制を構築しました。

ウ スタッフの業務分担、所属等

事業統括責任者は各施設へ横浜市からの情報伝達を迅速に行い、3施設が常に共通認識を持って運営管理を行うよう対応しました。また各施設でも業務開始前に毎日朝礼を行い、日常業務で生じた課題の他、利用者から施設へ頂いた良い意見を施設のスタッフ全員が情報共有し一体感を持って施設運営に努めました。

エ 職員体制

ホームページでの各施設お問い合わせ対応の他に、管理本部においても総合のお問合せ窓口を設置し、頂いた内容は迅速に各施設の責任者へ伝達する体制を構築しました。本部に頂いた施設に対しての問い合わせ、ご意見については施設への伝達のみとせず、他施設にも共有しフィードバックする事で施設運営の改善、トラブルの未然防止に努めました。

オ スタッフの基本配置表

事業計画書に基づいた体制で運営しました。

3. 施設の平等・公平な利用の確保について

(1) 趣旨

公の施設として、全ての人が平等に利用し、同じサービスを提供出来るよう施設運営に取り組みました。

(2) 具体的取組内容（実施事項）

ア 開かれた施設運営

老若男女・容姿等人的差別、国籍・宗教等社会的差別を排除し、利害関係や心情的に生ずる個人や団体についても特別な配慮もしくは誘因を作らないよう配慮し運営管理を行いました。

イ 公平・平等利用の確保の原則

全ての利用者に向けて公平な利用を確保するため、特定の人物及び団体による独占利用を排除しました。

ウ 全ての利用者に公平・平等な対応

利用者との直接対応や電話対応において不当な差別的扱いをしないよう職員間で認識を共有し、公平・平等かつ丁寧な接客対応を行いました。またサービスの提供に際し、知人に便宜を図るなど、相手によって提供するサービスが異なることが無いよう職員の教育研修を行い徹底しました。

エ 心のバリアフリーへの取組み 「～安心してスポーツを楽しむことが出来る施設づくり～」

全ての利用者が安心かつ快適にスポーツを楽しめるよう、簡潔明瞭な施設内の案内表示や掲示物を設置し、ホスピタリティを重視した接遇対応を行いました。

オ ユニバーサルデザインを踏まえたサービス提供と施設づくり

ユニバーサルデザインの 7 原則を踏まえ、全ての人に対して使いやすく、やさしい施設づくりを心掛け施設運営を行いました。特にお困りの様子である利用者を見かけた際はお声掛けする等、初めて施設を利用する方が不自由を感じないような対応を行いました。

カ 障がい者や高齢者等にやさしい環境づくり

- ・ 地域団体の利用促進（電話での混雑状況及び利用方法の案内）
- ・ 高齢者の運動機会の確保（スポーツ教室の幅広いメニューの展開等）
- ・ 障がい者利用時のサポート（スロープエリアでのサポート、多目的更衣室の利用案内等）

4. 施設の効用の最大限発揮について

(1) 趣旨

日頃から利用者気持ち良く施設を利用して頂くために、臨機応変な対応を心がけ、施設内外については日常清掃を行い、共用部、プールサイド、浴槽、更衣室、トイレ清潔に保つよう心掛け施設運営を行いました。また保守メンテナンスにおいても不具合発見時は迅速に対応し、利用者の安全・安心・信頼感の確保と施設の維持管理を行いました。

(2) 具体的取組内容（実施事項）

ア 施設の価値向上策

- ・スポーツ教室においては幅広い年代の方楽しんでいただけるよう様々なプログラムを用意し、利用者の健康増進とスポーツ振興に取り組みました。
- ・更衣室内ロッカーのメンテナンスを定期的実施し老朽化した部品の交換・修理を行い利便性を維持しました。
- ・お客様相談室を設置し利用者からの問い合わせ、要望に迅速に対応出来る体制を構築しました。
特に施設スタッフの対応を要する際は即各施設の責任者と連絡を取り、迅速な対応を心掛けました。
質問や要望についても解決済の場合も情報共有として施設責任者へ連絡を取り、より良い施設となるよう取り組みました。
- ・スマホ連動安心メールサービスの導入し、子供教室における利用者の利便性向上、安心感の提供を行いました。
- ・港南プール道路側へのPR対策については施設周辺の選定作業を行い、案内表示の視認性向上を図りました。
今後もより分かりやすい案内を提供出来るよう検証中です。
- ・障害者スポーツの推進・協力についてはプールリフトの運用、施設内設置の車いす利用促進を行いました。
- ・市内の大学、高校の活動支援としてプールのコース専用貸しを行いました。
- ・金沢プールレストランとの連携
利用金額により駐車場利用料金サービスの提供を行いました。

4. 施設の効用の最大限発揮について

(1) 広報・利用促進計画

ア 趣旨

ホームページ及び SNS を活用し施設情報を積極的に発信する事で、「港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール」の存在と活動を PR しました。内容についてはわかりやすく、簡潔に伝わるよう心掛け、利用者が身近に感じていただけるよう取り組みました。

イ 具体的取組内容（実施事項）

各種広報媒体（各種ツール）の活用PR計画

- ・ ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等 SNS を活用した情報発信
- ・ ホームページに横浜スポーツ情報サイト「ハマスポどっとコム」のリンク設置（継続）
- ・ 施設ホームページと SNS（ツイッター）のリンク設置、混雑状況発信のパナー設置
- ・ スポーツ教室参加者募集のチラシ作成配布（ポスティング）
- ・ 市内小中学校・幼稚園・保育園に情報提供（DM等）
- ・ 施設紹介チラシの配布（ポスティング）

（ウ） マスメディアを活用した広報活動

- ・ テレビ朝日系列の情報番組「アド街ック天国」の出演

ウ 利用促進策

- ・ ポイントカードの利用継続
- ・ スポーツレクリエーションフェスティバルの開催
- ・ 濱ともカード割引サービス（継続）
- ・ 靴袋の期間限定配布キャンペーン（金沢プール）
- ・ 商圏のデータ分析（チラシ配布）

4. 施設の効用の最大限発揮について

(2) スポーツ教室計画

ア 趣旨

子どもから大人、高齢者まで誰でも楽しんで頂けるよう様々なレベルと充実した内容のプログラムを用意しました。コロナウィルス感染防止対策として参加人数の制限を行いながらもなるべく多くの方が参加出来るよう開催時間についても清掃の時間帯を活用する等、一般利用と教室参加者が密集しないよう、感染防止と利便性を維持する事を考慮し実施しました。

イ 具体的取組内容（実施事項）

定期教室については引き続き先着ではなく、申し込み多数の場合は抽選による参加受付とし、申し込みをされた方が平等に参加出来るよう取り組みました。

また、コロナウィルス感染拡大防止対策により教室の参加人数についても制限を行いながらも、抽選漏れ等により参加いただけなかった方に向けてスポットでの教室プログラムを開催する事でより多くの方に楽しんで頂けるよう努めました。

安心な教室運営

スポーツ教室のプログラムや指導は安全面に十分配慮して行い、指導者については安全教育を徹底し、公共サービス従事者としての心得や施設の設置目的等を十分に理解させ指導にあたりました。教室のプログラム内容や指導内容等について、市民ニーズやフィットネス市場の動向を加味する等して受講満足度を高める事を大切にし、事業の中で出た課題や改善点については職員で情報共有し常に魅力的な教室事業となるよう運営を行いました。特に子供教室においては講師の指導・安全管理に加え、監視スタッフも安全監視のフォローをする事で、教室参加者だけではなく、保護者の方にも安心してご参加頂けるよう取り組みました。

ウ 港南プールの教室実績（別紙1～3）

エ 金沢プールの教室実績（別紙4～7）

4. 施設の効用の最大限発揮について

(3) 自主事業計画

ア 趣旨

施設利用機会を増やすため、利用者の動向やニーズに対応した事業として、自主事業を開催しました。利用者サービス内容として、物販サービスや自動販売機の設置の他、金沢プールでは引続き飲食事業を行いました。

特にレストランにおける飲食の提供については、ただ商品を提供するだけでなく海が見える絶好のロケーションを活かし、SNSでの積極的な情報発信を行う事で認知度向上に努めました。

また、テレビ番組の撮影依頼に協力しプールの利用者のみではなく、レストランの利用を目的とする利用者の新規顧客開拓に取り組みました。

イ 具体的取組内容（実施事項）

- ・自動販売機の設置継続（港南プール、保土ヶ谷プール、金沢プール）
- ・「はまっ子どうし The Water」取扱い継続
- ・物品販売（主に水泳用品の他、浴用タオルの販売）
- ・飲食販売（金沢プール）2階レストランスペースを使用し食品、飲料の提供を行いました。
テレビ番組放映後、SNSや館内掲示物により認知度向上を図りました。
- ・駐車場の時間外利用（24時間営業 港南プール、金沢プール）
- ・ノベルティを活用したリピーターの利用促進
- ・レストラン利用者に向けた駐車場サービス券の提供

5. 施設管理について

施設設備を維持管理するにあたり、その機能と特性を十分に把握した上で全てを清潔に保ち、その機能を正常に保持するよう留意し次年度の運営を視野に入れながら、適正な維持管理と必要に応じた保守点検と修繕対応を実施しました。また劣化損傷したものは適宜補修し、日常業務の中で職員と設備員が施設の巡回を行い不具合及び異常を発見した際は適時対応しました。施設点検については、日常点検、定期点検、臨時点検などを組み合わせて実施し定期点検については消防法などの関係法令に基づいて規定された頻度で実施して良好な状態を維持しました。

○施設・設備の保守管理に関する方針

中・長期の修繕計画を策定し、かつ日常の監視・点検を実施する事で施設設備を常に良好な状態に保持し、適切なデータ管理と報告を基本として維持管理業務を実施しました。

○維持管理コストにおける経費削減について

環境保全に配慮してローコスト管理に努めました。エネルギー使用量を毎日記録し、異常が見受けられた場合は、改善策を即時導入して対応しました。また不具合などの修理・修繕を早期に行うことで省エネルギー化を図りました。

○ローコストによる維持管理手法について

- ・適正な消耗品管理による過剰在庫の抑制
- ・再委託業務等の際、内容を精査し効率的且つ安全な維持管理の実施
- ・巡回チェックシートを元に施設日常点検の実施（

○備品・消耗品の管理

備品台帳をもとに適性に保存・管理を行いました。消耗品について在庫状況を定期的に確認し、不足する前に補充する等重複や過度の在庫による無駄な発生を抑えて経費削減を図りました。また日常点検で不具合が見受けられた備品については状態を確認し修理等に対応出来るものは適時処理し再利用する事で無駄な消費の抑制を図りました。

5. 施設管理について

(1) 施設の点検計画

ア 趣旨

施設維持、設備運転・点検業務

事業計画書に沿って設備維持管理、点検を行い施設内外の保全に取り組みました。

特に元年度に実施出来なかった修繕においては修繕計画に組み入れ早期実施しました。

イ 具体的取組内容

- ・トラブル等発生時の対応を項目ごとに設定し、作業者に徹底させました。
- ・設備員による日常点検の他に、専門業者による法令に基づく年次点検及び月次点検を実施しました。
- ・記録データ及び日常点検状況を基に設備機器の予防保全を行い、設備の信頼性を高め、設備機器の延命を図る。
- ・利用者の安全確保のため、事前アナウンスや表示、複数名での作業、作業区域への利用者の侵入を防ぎました。
- ・日常の設備点検巡回時には不審者、不審物にも注意を払い、セキュリティを確保しました。
- ・経年劣化等により想定される不具合を事前に修繕し事故防止に努めました。
- ・職員による施設内の巡回パトロールを定期的実施し、潜在的な危険、不具合の可能性の予防を実施しました。
- ・事故・災害発生時の初期対応、情報管理、関係機関への連絡は職員間で連携して対応しました。
- ・監視員によるプール内排水溝の定期的な点検実施による安全管理の実施

5. 施設管理について

(2) 修繕計画

ア 趣旨

修繕費予算を考慮し、緊急性、及び利用者の利便性向上を優先し計画的に施設の機能維持、修繕を実施しました。本年度は保土ヶ谷プールが休館の為、保土ヶ谷プールの修繕費を港南プール、金沢プールの修繕に充てる事で長期修繕計画を前倒しに実施する事が出来ました。また1件当たり100万円を超過する大規模な修繕については早期実施が望ましいと判断した案件については横浜市と協議の上実施しました。

イ 具体的取組内容（実施事項）

・施設・設備の修繕業務

中長期修繕計画書に基づき、P D C Aサイクルによる修繕を行いました。

(イ) 計画 (Plan) 「修繕計画の策定」

現状の不具合等を調査し、併せて過去の修繕履歴を確認し緊急性の高い案件を優先とした「中期修繕計画」を作成しました。

(ウ) 実行 (Do) 「修繕の実施」

年度計画に基づく設備等の破損、経年劣化等の損壊に伴う修繕を実施しました。また修繕内容をデータベース化し実績データを蓄積したうえで今後の修繕計画に反映させました。

(エ) 評価 (Check) 「中期修繕計画を見直し」

保守点検や修繕履行状況に基づき、当初計画した予算と照らし合わせながら、年度当初に作成した中期修繕計画を年末に見直しました。

(オ) 改善 (Action) 「見直した結果に基づき、必要な修繕の実施」

計画を見直した中で年度内に行うべき修繕と次年度に向けて項目を選定し修繕計画を作成しました。

修繕実施報告書（別表 8）

別表 8

令和2年度 横浜市指定管理者 修繕実施報告書

港南プール				保土ヶ谷プール				金沢プール			
日付	内 容	施工	金額	日付	内 容	施工	金額	日付	内 容	施工	金額
5月	非常用発電機充電器サーモスタット交換	国際ビルサービス	323,180	4月	留守番電話設置	エーエスサポート	74,800	4月	入り口ドア鍵交換		41,800
6月	非常用発電機バッテリー交換	国際ビルサービス	252,560	4月	金庫暗証番号調査	アプティキティサービス	13,200	4月	シャワー水栓取付け	三洋装備	594,000
8月	エアコン設置工事	国際ビルサービス	327,800	5月	入金機移設工事	アルソック	66,000	5月	サウナ入り口温度計設置	三洋装備	374,000
9月	ろ布交換	ユニ機工	9,350	5月	機械警備センサー取外し工事	アルソック	54,450	5月	二方弁交換	アマノ技研	346,500
9月	プール天井照明器具脱着	横山電機	31,900	5月	機械警備取外し工事	アルソック	55,000	5月	グレーチング交換	ニューレヴェル	40,700
10月	ボイラー水漏れ修繕	日本サーモエナー	154,000	11月	防火シャッター動作確認	三和シャッター	33,000	6月	冷凍機バッテリー交換	三菱冷熱	102,300
10月	冷却槽ポルトアップ交換	国際ビルサービス	14,300	12月	排煙窓修理	三洋装備	858,000	6月	ケーブル引替え工事		165,000
10月	消火器設置	国際ビルサービス	8,690	1月	防火シャッターワイヤー交換	三和シャッター	275,000	7月	塩素タンク仮設工事	東西化学	162,580
11月	煙感知器交換	国際ビルサービス	28,600	3月	採暖室ベンチ修繕	紳健匠	257,000	10月	塩素タンク交換	東西化学	2,004,310
12月	プールリフトバッテリー交換	アプティキティ	40,920					10月	冷凍機部品清掃交換	アマノ技研	365,750
12月	ボイラー給水ポンプ交換	日本サーモエナー	165,000					11月	浴槽機械室塩素タンク交換	ユニ機工	121,000
1月	消防設備不具合修繕	国際ビルサービス	759,000					11月	塩素注入口追加	ユニ機工	90,200
1月	ボイラー中和装置ポンプ交換	日本サーモエナー	242,000					11月	給水ポンプインバーター不具合	富士電機	88,000
1月	蒸気バルブパッキン取替	国際ビルサービス	32,340					12月	自動制御装置修理	日本電技	512,600
1月	蒸気ヘッダートラップ交換	国際ビルサービス	108,240					12月	給水ポンプインバーター漏電防止装置交換	三洋装備	79,200
2月	高温室自動制御装置交換	国際ビルサービス	1,155,000					12月	レストランレンジフード交換	三洋装備	171,600
2月	ダンパーモーター交換	日本サーモエナー	143,000					2月	貯湯槽温度計、塩素注入装置設置	アマノ技研	764,500
2月	インターホン設置	国際ビルサービス	836,000					3月	浴室ろ過機バタフライ弁交換	東西化学	419,650
3月	エントランス漏水工事	国際ビルサービス	1,738,000					3月	外階段門扉修繕	福伸建設	999,000
3月	ボイラー処理水ピット修繕	国際ビルサービス	80,080					3月	駐車場門扉修繕	福伸建設	107,800
計			6,449,960				1,686,450				7,550,490

5. 施設管理について

(3) 清掃計画

ア 趣旨

事業計画書に沿って核管理区域の清掃と館内の保全に努めました。

イ 具体的取組内容

・日常清掃について

営業開始前と終了後に館内の清掃・消毒作業を行い、施設内を清潔に保つよう取り組みました。

特に更衣室や隣接するトイレについては床が滑りやすくなる場所については監視員が定期的巡回の際、ふき取りを行い転倒防止等と安全管理を実施しました。

また新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として業務時間中においても人の手が触れる場所を中心に消毒作業を行い、利用者の安全確保と衛生的な環境の維持に努めました。

・廃棄物処理について

館内において、ゴミ箱の設置は必要最小限にとどめ、利用者には、なるべくゴミはお持ち帰りいただくよう協力を呼びかけました。職員が業務を行う事務所においても排出するごみ削減の一環として詰め替え用の消耗品の使用、コピー用紙についても可能であれば裏紙を使用しての資料作成等を行い削減に努めました。排出するごみについては分別を徹底し産業廃棄物においても同様に横浜市内の処理業者と契約しルート回収のスケジュールに沿ってマニフェスト交付の上処分しました。

5. 施設管理について

(4) 植栽計画

ア 趣旨

外溝・植栽等の管理については職員が日常の巡回点検を行い、お客様や近隣住民の方の安全確保に努めました。

また年に1回、専門業者による施設周辺の選定作業を行い、全体の整った景観を維持するよう実施しました。

イ 具体的内容

施設周辺の日常清掃を行い、雑草の除去などを行いました。

特に落葉の季節には葉が近隣の住居などに及ばないようにこまめに巡回し対応しました。

6. 安全管理について

緊急時において迅速かつ効果的な対応を行うため、各施設の統括責任者と統括管理本部、事業統括責任者との危機管理体制を構築しました。日頃から防災に対する意識を高く持ち、教育・訓練を通じて職員の緊急時対応力を維持します。また、お客様に施設を安全・安心してご利用いただくために、体重計を設置して健康の自己管理につなげて頂きます。

利用者の事故や急病などへの対応策として、危機回避のための準備運動の励行、体調管理の徹底、利用者マナー等について掲示板を活用し、利用者の皆様が安全に且つ安心して水泳を通じた健康づくり活動が行えるよう努めました。

各施設の防災訓練実施報告

【港南プール教育・研修実施報告】

実施場所：港南プール

実施日：令和3年1月26日(火曜日)

【実施概要】

- ・緊急時の避難経路・誘導の確認
- ・火器設置場所確認・AED設置場所確認
- ・災害時の避難シミュレーション
- ・傷病者対応確認
- ・AED使用方法・心肺蘇生法確認
- ・水中救助訓練・泳力訓練
- ・溺水者発見、救助からプールサイドまでの移動、引上げの研修

(1) 緊急時の避難経路・誘導の確認

災害時を想定した誘導、スタッフ及び利用者の動きを確認

(2) 火器及びAEDの確認

館内に設置している設備の設置場所の確認

(3) 災害時の避難シミュレーション

地震が起こったことを想定してお客様方の避難口までの誘導

(4) 傷病者対応

プールサイドでの傷病者発生時におけるスタッフの対応確認

(5) AED使用方法・心肺蘇生法確認

機器を使用した実演、対応者以外の連携を確認

(6) 水中救助訓練・泳力訓練

プール内での傷病者移動方法及び移動の際注意点の確認、訓練後スタッフの泳力訓練実施

【避難口の確認】



【傷病者の対応及び AED 使用方法確認】



【心肺蘇生法の実演】



【救助訓練】

【金沢プール研修実施報告】

実施場所：金沢プール

実施日：令和3年1月26日(火曜日)

【実施概要】

- ・ 消火器、消火栓設置場所の確認
- ・ 避難経路の確認
- ・ AED、心肺蘇生法の確認
- ・ 溺者救助練習
- ・ プールでの事故発生時のシミュレーション

(1) 消火器、消火栓設置場所の確認

館内に設置してある消火器の設置場所を確認

(2) 避難経路の確認

地震が起きたことを想定した避難経路の確認

2階と1階、プール場内における避難経路の確認、移動方法の説明

(3) AED、心肺蘇生法の確認

AED の設置場所の確認・使用方法の実演

心肺蘇生法は人形を使用し実演

意識あり、呼吸ありの場合を想定して回復体位のやり方の実演

(4) 溺者救助練習

プールで溺れている人の救助

溺者発見～引き上げまでの動作の練習

頸椎損傷時の救助方法

(5) プール事故が起きた時のシミュレーション

遊泳者が突然溺れて意識不明、呼吸なしを想定し研修

(6) プール事故が起きた時のシミュレーション

泳いでいる人が突然溺れて意識不明、呼吸なしを想定し手順の確認・研修

パトロールが溺者発見後に順下、タワーが受付に連絡と同時に溺者を引上げ、

キャリーしながら意識の確認（反応しないので意識なし）、応援を要請

C が応援に駆け付け 2 人でプールから上げ CPR を開始

受付スタッフは統括に連絡し、統括は 119 番通報するまでの業務フローのシミュレーションを実施

【消火栓を開放し使用方法の確認】

【心肺蘇生法の実演】



【溺者救助の研修】

【救助者引上げの実演】



6. 安全管理について

(1) 警備体制

ア 趣旨

機械警備と職員による巡回警備を行い、火災、盗難を警戒するとともに火災を予防し、火災や盗難などが発生した際は消防機関、管轄の地元警察署に通報し現場検証を行いました。

機械警備は外部委託として契約事業者による遠赤外線感知装置及び通報システムを設置としました。

日常的な保安については、職員の施設巡回による対応により危険カ所や破損・汚損カ所のチェック及び不審者・不審物の有無をチェックし、必要に応じて迅速な措置を行いました。

イ 具体的取組内容（実施事項）

(ア) プールにおける監視体制

- ・特に混雑する週末には子供の利用が多い為、より注意深く監視しプールフロアでの転倒防止、利用者同士の衝突防止に努めました。
- ・高い集中力を維持し事故防止の為、一定時間で監視員が各セクションをローテーションで交代し、更衣室等巡回の際は利用者への挨拶と声掛けを行い、体調不良でないか等注意して観察を行いました。
- ・利用者へは定期利那水分補給を促すよう、館内の掲示物などで情報発信を行いました。

(イ) プール監視員の配置

タワー監視員を常時1名配置し、プール全体の安全確認を行うと共に、巡回監視員への指令及び利用者への各種案内を実施しました。また、プール全体の安全確認の他、危険行為の広範囲での確認・注意、眼鏡やアクセサリ等着用の方には早期発見次第外して遊泳して頂くよう声掛けを行いました。営業時間中は監視員がプール内の水底確認を定期的実施し、排水口のビスの緩み等の異常の有無をチェックして記録し、監視員のシフト構成に際しては、休憩時間の確保を徹底し、繁忙時には混雑状況により巡回監視員を増員してプールの安全を確保しました。

(ウ) プール監視におけるその他の安全管理対策

プールサイド及びロッカー内・階段等滑りやすい場所の日常清掃を特に徹底し、必要に応じて防水マットを敷くなどの対策を講じ、転倒防止に努めました。子供の利用については保護者1名につき同伴できるお子様の人数を制限し、安全を最優先としたルールを設定して対応しました。

(エ) プールの安全監視体制

- ・監視業務：監視台からの監視とプールサイドの巡視による監視にて安全確保を行いました。
- ・監視引継：監視ポジションの引継を確実にし、監視に遺漏のないよう実施しました。
- ・監視体制：入場者の混雑具合、遊泳状況により適切な数の監視員を配置しました。
- ・その他
 - ：入水者で危険を伴う行為のある場合（飲酒者など）は入水を禁止とする。
 - ：場内の利用ルールが正しく守られ、安全・快適な水泳が出来るよう配慮しました。
 - ：監視員の服装は水着又は定められたユニフォームを着用し業務に従事しました。
 - ：コロナ感染拡大防止対策として定期的な消毒と清掃を実施しました。
 - ：利用者へ来館時にマスク着用の周知徹底を行いました。

6. 安全管理について

(2) 緊急・救急体制

ア 趣旨

利用者の安全を第一優先とし地震・火災等の災害時及び利用者のケガや体調不良による緊急時の予防管理に十分留意し管理運営を行いました。天災等の災害やケガなどの緊急時の対策として、緊急対応のフローチャートを作成し、教育訓練を通じて防犯・防災・事故防止を図りました。緊急事態発生時は、人命を第一に行動し、非常時に適切な対応が行えるよう、関係機関との連携を強化し、常に緊張感を持って業務に取り組むよう職員間で認識を共有し従事しました。

イ 具体的取組内容（実施事項）：防災

営業時間中は常に自然災害発生等による緊急警報や注意報の発令に関する情報にアンテナを貼り、利用者の全確保を基準に適切な施設・設備・事業等の停止・休止・利用制限等の安全措置を実施しました。

(ア) 防災計画

各施設に防火管理者を選任し、その者を中心に消防署等関係機関の指導のもと消防計画を作成しました。

(イ) 防災活動

火災予防上の自主点検として、避難誘導経路や障害物等のチェック表に基づいて、日常点検の場合はスタッフが開館前に、定期点検の場合は防火管理者が実施しました。

(ウ) 報告・連絡・連携体制の構築

地震・火災・台風等災害が発生した際、統括責任者を中心として、全スタッフが利用者の安全確保と速やかな施設・設備の状況を点検し、被害のある場合は適切な措置をとり、被害状況を報告出来るよう周知しました。

(エ) 防火・防災訓練の実施

出火時の初動対応について業務フローチャートを作成し、消防訓練を実施し、有事の際に迅速な対応が行えるよう徹底しました。

(オ) AEDの適切な配置

AEDをプール監視室に配置し、設置場所を示す案内サインをお客様にも分かりやすいように掲出します。なお、AEDについては点検表に基づき1日1回行いました。

ウ 具体的取組内容（実施事項）：防犯・事故

防犯、事故等の緊急時に適切な対応を行えるよう、統括責任者を中心にスタッフ全員が一体となり業務補完し合える体制を整える事で、防犯あるいは事故・緊急事態の発生に際にも、適切かつ迅速に対応出来るよう取り組みました。また近隣医療機関や消防署・警察署・地域の防災・防犯団体との密接な連携強化、その他行政との緊急連絡網・報告体制の強化を図り、常に情報交換が行える状態を維持しました。

(ア) 緊急連絡体制

各機関（警察等）との連絡体制を整備し万が一に備え、緊急時における連絡網を作成し、迅速に関係各所に連絡する体制を整えます。有事の際は警察・消防・横浜市市民局のスポーツ振興課へ速やかな連絡・報告を行いました。

(イ) 急病人や負傷者等への対応

施設利用者や来館者の急病やけが等に迅速に対応できるよう救急連絡体制を構築して対応しました。監視室内に医薬品等を配備し、不足品の補充や使用期限切れ品の交換を行います。万が一、プール等にて施設をご利用のお客様に人身事故等が発生した場合は、職員が発生現場に急行して負傷者の状況を確認し、別の職員がAEDや救急用具等をもって現場に急行し、お客様の容体等により、迅速に119番通報と救急隊を要請を実施しました。

(ウ) 傷病者の医療機関への対応

傷病者が発生した場合は、事故現場近くの安全な場所または施設内の救護室内で応急処置を行った後、傷病者の状態やご本人の希望に応じて、近隣の病院を紹介しました。

(エ) 警察や救急隊への連絡

緊急時は速やかに警察や消防へ適切な連絡ができるよう、管理事務所及びプール監視室内に緊急時連絡フローチャートを掲示しました。

(オ) スポーツ教室参加のお客様等への対応

台風などの悪天候が予想される場合、お客様の来館・退館時の安全確保のため、教室の可否判断基準を予め定め、それに基づいて教室等の開催可否を決定し、開催を中止した場合は、事前申し込み者のお客様には直接電話またはメールにて連絡し、並行してホームページ等にて周知を図りました。

6. 安全管理について

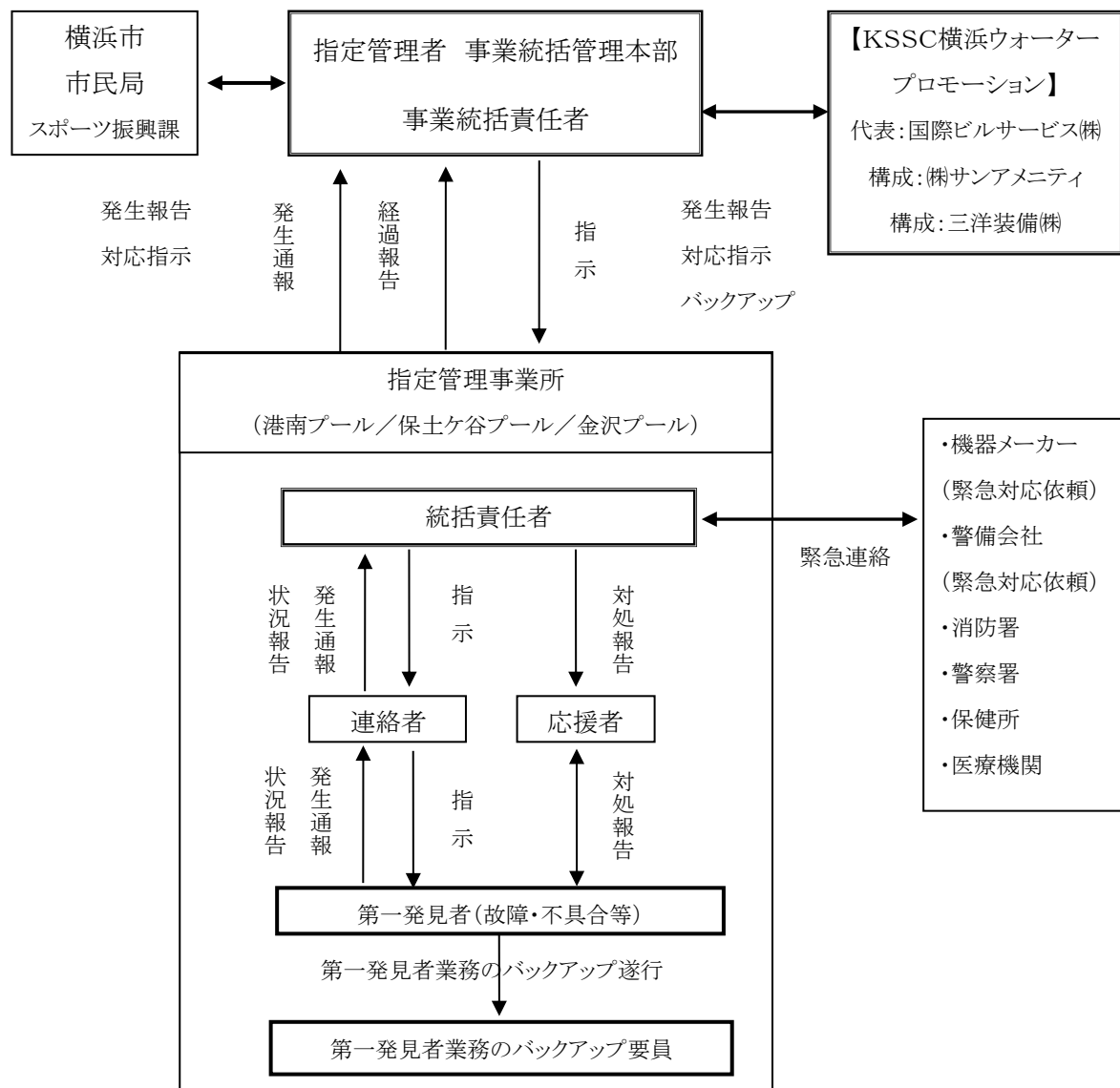
(3) 危機管理組織体制（補償体制等）

ア 趣旨

夜間等の業務時間外は防犯対策として各プール施設へ機械警備システムを導入し、防犯に努めました。緊急連絡網を整備し、業務時間外に横浜市市民局や警備会社等から連絡があった際は、事業統括責任者及び各施設の統括責任者を当団体の窓口として対応しました。台風や風水災害などは、業務時間内では館内放送や掲示等により注意喚起し、応急対策等を講じました。また、人的・物的被害を発生した際は、傷病者に対しては一次救命処置を行い、被災状況に応じて消防・ご家族・関係各所へ連絡を行いました。

- ・災害発生時における緊急時のバックアップ体制

【緊急時のバックアップ体制】



イ 具体的取組内容（実施事項）

- ・事業計画書に基づいた施設賠償責任保険に加入しました。

7. 地域との協力について

(1) 趣旨

指定管理者として、スポーツ施設の管理運営を行う上で、地域の関係諸団体・自治会と連携を密にしながら、各プール施設が健康増進と地域振興となるべく運営に取り組みました。

(2) 具体的取組内容（実施事項）

市や地域学校主催のイベント等への協力や情報提供等の支援を行いました。

・関係団体の強化と連携強化の観点から

団体のホームページへ横浜市スポーツ協会が運用している情報サイト「ハマスポ」のリンクを設置し市民のスポーツ振興の為の情報提供の場を増やしました。

・市民スポーツと関係団体との連携

各施設の地域で活動するスポーツ少年団や部活動・学校体育関係部署との連携、近隣の高等学校や専門学校や大学、等との連携を深める事で、幅広いニーズへ対応できるよう情報共有を図りました。

・地域スポーツ活動団体の利用支援

中学校の部活動における水泳活動や学生や成人等の地域のスイミングサークルなどの水泳団体に働きかけ、コース貸しによる定期的な活動を支援し、充実したスイミングライフの広がりにも貢献しました。

・子ども会・老人クラブ等の地域団体との協働

子供から高齢者、障害者がスポーツやレクリエーション、健康づくり事業へ気軽に参加できるよう各団体とスポーツ・運動を通じて協働し、市民の自主的なスポーツ活動の推進を図りました。

・地域の消防署と連携した防災訓練

各施設の近隣消防署と連携し、水難訓練、初期消火、避難訓練、救急法講座の開催や防災訓練を行いました。

・地域貢献活動

地域の活性化のための社会的活動や地元雇用の促進、地元企業の活用など、地域の公共益に資する活動に取り組みました。

・職場体験やインターンシップの受入れ協力

市内及び地域の全中学校に働きかけ、職場体験を受け入れる準備を行いました。また、専門学校や大学生によるインターンシップ、小学生の施設見学会等の受入れに協力しました。

・福利厚生サービスの継続対応（警友会（利用者本人と団体で利用料負担）、駐留軍、学校共済会、地方職員など）

8. モニタリング計画について

(1) 趣旨

事業運営については、継続的な改善体制を構築して、定期的な利用者満足度調査と自己評価の実施によって業務内容を検証し、改善に向けて団体内で継続して協議を行い、サービス水準を高めるべく利用者ニーズの高いスポーツ教室の開催や施設運営へ繋げました。

(2) 具体的取組内容（実施事項）

- ・月に1回、各施設の責任者と事業統括責任者で施設運営会議を開催し、予算に対しての進捗状況、収支及び修繕の執行状況を共有し、施設で生じた苦情・トラブル等個々の課題に一体で改善に向けて取り組み、管理運営に反映させました。
- ・利用者からの苦情、要望については管理本部及び各施設で共有しケーススタディとして改善案を共有しました。
- ・適正なサービスの継続的・安定的なサービス提供が適切に行われていない場合は必要に応じて改善対策を実施しました。
- ・お客様の声と満足度の確認にあたり利用者からの意見や要望については丁寧に対応し内容を職員間で情報共有しました。施設での直接頂く意見の他、ホームページでも問い合わせ窓口を設置し、利用者がいつでも施設に対して意見を発信出来るよう体制を構築しました。

9. 管理運営経費について

(1) 趣旨

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、第1四半期は休館となりましたが、利用制限を設ける等対策を実施し、利用者が安心して楽しめるよう、安全管理に留意し施設の管理運営を行いました。

収支決算書(港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール) 令和2年度

1 総括表

(1) 収入

(千円、税込み)

項目	第1四半期 決算額	第2四半期 決算額	第3四半期 決算額	第4四半期 決算額	小計	予算	予算 達成率	備考
①指定管理料	14,744	10,191	28,670	29,411	83,016	83,016	100.0%	
②横浜市による運営支援	15,895	0	0	0	15,895	0		休館期間
③横浜市による運営支援	0	18,588	13,742	34,564	66,894	0		利用再開後の期間等
④施設運営収入 (A)	1,297	19,642	17,140	19,856	57,936	172,593	33.6%	
項目								
利用料金収入	0	10,647	8,582	9,769	28,998	98,217	29.5%	
利用料金収入(駐車場)	700	5,159	3,330	3,895	13,084	20,392	64.2%	
スポーツ教室等事業収入	0	1,476	3,096	2,212	6,784	49,079	13.8%	
文化系教室収入	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	
託児事業収入	0	0	0	0	0	200	0.0%	
広告事業収入	0	0	0	0	0	90	0.0%	
自主事業還元収入・その他	597	2,361	2,132	3,979	9,069	4,615	196.5%	
⑤自主事業による収入	719	1,047	779	763	3,308	26,725	12.4%	
項目								
スポーツ教室等事業(時間外)	0	0	0	0	0	0		
飲食事業	2	207	245	309	763	6,100	12.5%	
物販事業	106	840	534	453	1,934	14,361	13.5%	
利用料金収入(時間外)	0	0	0	0	0	4,864	0.0%	
利用料金収入(駐車場)(時間外)	0	0	0	0	0	900	0.0%	
その他(目的外使用料還付)	611	0	0	0	611	500	122.3%	金沢プール・港南プール休館に伴う還付
合計(②+③+④+⑤)	17,912	39,277	31,661	55,183	144,033	199,318	72.3%	

(2) 支出

(千円、税込み)

項目	第1四半期 決算額	第2四半期 決算額	第3四半期 決算額	第4四半期 決算額	小計	予算	予算 達成率	備考
⑦維持管理運営費用 (B)	33,887	46,098	52,613	85,807	218,406	255,609	85.4%	
項目								
人件費	12,597	17,488	15,872	16,546	62,502	73,244	85.3%	
修繕費	2,503	532	4,735	7,917	15,687	16,500	95.1%	
設備管理費・保安警備費	6,929	9,546	10,651	15,023	42,148	26,761	157.5%	
備品購入費・消耗品費	452	581	1,238	685	2,955	6,000	49.3%	
外溝・植栽管理費・廃棄物処理費	0	0	0	435	435	2,332	18.6%	
広報費・印刷製本費	0	0	0	0	0	5,840	0.0%	
光熱水費・燃料費	7,934	12,840	13,825	15,791	50,391	70,942	71.0%	
保険料	0	0	0	190	190	1,850	10.3%	
使用料・賃貸料	867	867	867	867	3,468	7,032	49.3%	
委託料・謝金	863	2,036	2,996	26,403	32,299	26,144	123.5%	
公租公課	1,119	1,865	2,234	1,673	6,892	7,430	92.8%	
旅費	0	0	0	0	0	60	0.0%	
会議滞在費	2	0	0	0	2	36	5.6%	
通信運搬費	192	164	178	175	709	1,331	53.3%	
支払手数料	0	14	13	3	29	167	17.5%	
会費及び負担金	15	0	0	0	15	540	2.8%	
事務経費本部分	414	165	5	100	684	9,400	7.3%	
その他	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	
⑧自主事業による経費					2,695	22,110	12.2%	
項目								
スポーツ教室等事業(時間外)	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	
飲食事業	413	413	413	413	1,654	7,320	22.6%	
物販事業	212	212	407	212	1,041	6,594	15.8%	
利用料金収入(時間外)	0	0	0	0	0	7,300	0.0%	
利用料金収入(駐車場)(時間外)	0	0	0	0	0	396	0.0%	
その他	0	0	0	0	0	500	0.0%	
合計(⑦+⑧)	33,887	46,098	52,613	85,807	221,101	439,507	50.3%	

(3) 収支差額(自主事業除く)

(千円、税込み)

項目	第1四半期 決算額	第2四半期 決算額	第3四半期 決算額	第4四半期 決算額	小計	予算	備考
収支差額 = (収入 (①+②+③+④) - 支出 (⑦))	-1,950	2,323	6,939	-1,976	5,336	0	

共同事業体名
施設名

KSSC横浜ウォータープロモーション
横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支決算書(港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール) 令和2年度

2 指定管理・収入の部(令和2年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			57,93
利用料金収入			28,99
項 目	プール	個人利用	24,06
	浴場	個人利用	1,41
	プール・浴槽セット券	個人利用	1,04
	多目的室		10
	プール(団体)		
	附帯設備利用料金		2,36
利用料金収入(駐車場)		基本会館時間内実施分	13,08
スポーツ教室等事業収入		基本会館時間内実施分	6,78
文化系教室収入			
託児事業収入		基本会館時間内実施分	
広告業務収入		自販機設置業者広告ポスター収入	
その他		自主事業還元収入(自主事業利益の充当額)	9,06
(2)指定管理料を含んだ収入合計			
収入 (A)			57,93
指定管理料 (B)			80,16
収入合計 (A)+(B)			138,09

共同事業体名	KSSC横浜ウォータープロモーション		
施設名	横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール		
収支決算書(港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール) 令和2年度			
3 指定管理・支出の部(令和2年度)			
	積算内訳	合計金額 (千円、税込み)	
③ 維持管理運営費用		218,406	
項 目	人件費	直接人件費	62,502
	修繕費	維持管理運営費用修繕費	15,687
	設備管理費・保安警備費	機械運転・圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等・機械警備	42,148
	備品購入費・消耗品費	用具等貸出備品・トイレトーパー、事務用品、プール薬剤他	2,955
	外構・植栽管理費・廃棄物処理費	敷地内樹木剪定・除草・薬剤散布・施設発生ゴミ・大型ゴミ処分他	435
	広報費・印刷製本費	新聞折込み・リーフレット印刷等	0
	光熱水費	電気代・ガス代・水道代	50,391
	保険料	施設賠償責任保険、スポーツ傷害補償保険	190
	使用料・賃借料	券売機等リース、NHK放送受信料ほか	3,468
	委託料・謝金	現金集配業務、ホームページ作成	32,299
	公租公課費	消費税、収入印紙	6,892
	旅費	巡回交通費等	0
	会議賄い費	プール運営会議(12回)	2
	通信運搬費	電話料・インターネット通信料・切手代ほか	709
	支払手数料	振込手数料ほか	29
	会費及び負担金	職員研修費ほか	15
	事務経費本部分	本部経費	684
	その他		0

共同事業体名	KSSC横浜ウォータープロモーション		
施設名	横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール		
収支決算書（港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール）			
4 自主事業・収入の部（令和2年度）			
	内 訳	合計金額 (千円、税込み)	
④ 自主事業による経費		3,308	
項 目	スポーツ教室等事業（時間外）	スポーツ教室事業支出	0
	飲食事業	レストラン運営収入	763
	物販事業（自動販売機）	自動販売機 目的外使用料、電気代	1,037
	物販事業（レンタル）		0
	物販事業（物品販売）	水泳用品（水着、ゴーグル、スイミングキャップ等） 浴室関連用品（タオル）	896
	施設利用（時間外）		0
	施設利用（駐車場）（時間外）		0
	その他（目的外使用料還付）		611

共同事業体名	KSSC横浜ウォータープロモーション		
施設名	横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール		
収支決算書（港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール）			
4 自主事業・支出の部（令和2年度）			
	内 訳	合計金額 (千円、税込み)	
④ 自主事業による経費		2,696	
項 目	スポーツ教室等事業（時間外）	スポーツ教室事業支出	0
	飲食事業	レストラン運営経費（人件費、材料費、光熱水費など） 目的外使用料	1,654
	物販事業（自動販売機）	自動販売機 目的外使用料、電気代	680
	物販事業（レンタル）	リネンクリーニング	0
	物販事業（物品販売）	商品仕入れ、目的外使用料	361
	施設利用（時間外）	職員人件費（受付・清掃）、光熱水費等	0
	施設利用（駐車場）（時間外）	駐車場管理業務委託（固定収益契約）	0
	その他		0

収支決算書(港南プール)

1 港南プール総括表

(1)収入 ※ 指定管理料を除いた金額。 (千円、税込み)

項目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計	備考
①施設運営収入 (A)	0	30,172	0	0	0	30,172	
項目							
利用料金収入		10,741				10,741	
利用料金収入(駐車場)		7,591				7,591	
スポーツ教室等事業収入		3,195				3,195	
文化系教室収入		0				0	
託児事業収入		0				0	
広告業務収入		0				0	
その他		8,644				8,644	
②自主事業による収入	0	905	0	0	0	905	
項目							
スポーツ教室等事業(時間外)		0				0	
飲食事業		0				0	
物販事業		843				843	
利用料金収入(時間外)		0				0	
利用料金収入(駐車場)(時間外)		0				0	
その他(目的外使用料還付)		62				62	
合計(①+②)	0	31,076	0	0	0	31,076	

(2)支出 (千円、税込み)

項目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計	備考
③維持管理運営費用 (B)	0	102,109	0	0	0	102,109	
項目							
人件費		25,284				25,284	
修繕費		6,450				6,450	
設備管理費・保安警備費		25,528				25,528	
備品購入費・消耗品費		1,512				1,512	
外構・植栽管理費・廃棄物処理費		245				245	
広報費・印刷製本費		0				0	
光熱水費・燃料費		22,404				22,404	
保険料		0				0	
使用料・賃借料		741				741	
委託料・謝金		17,187				17,187	
公租公課		2,449				2,449	
旅費		0				0	
会議賄い費		0				0	
通信運搬費		293				293	
支払手数料		0				0	
会費及び負担金		0				0	
事務経費本部分		16				16	
その他		0				0	
④自主事業による経費	0	256	0	0	0	256	
項目							
スポーツ教室等事業(時間外)		0				0	
飲食事業		0				0	
物販事業		256				256	
利用料金収入(時間外)		0				0	
利用料金収入(駐車場)(時間外)		0				0	
その他		0				0	
合計(③+④)	0	102,366	0	0	0	102,366	

(3)指定管理料 (千円、税込み)

項目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計	備考
指定管理料	0	47,445	0	0	0	47,445	

共同事業体名	KSSC横浜ウォータープロモーション
施設名	横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(港南プール)

2 指定管理・収入の部(令和2年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			30,192
利用料金収入			10,741
項 目	プール(個人)		9,196
	多目的室(個人)		0
	プール(団体)		0
	多目的室(団体)	500件 × 500円	0
	附帯設備利用料金	ロッカー、ドライヤー	1,545
利用料金収入(駐車場)		基本会館時間内実施分	7,591
スポーツ教室等事業収入		基本会館時間内実施分	3,195
文化系教室収入			0
託児事業収入		基本会館時間内実施分	0
広告業務収入		自販機設置業者広告ポスター収入	0
その他		自主事業還元収入(自主事業利益の充当額)	8,664

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			30,192
指定管理料 (B)			47,445
収入合計 (A) + (B)			77,637

共同事業体名 KSSC横浜ウォータープロモーション
 施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支決算書(港南プール)

3 指定管理・支出の部(令和2年度)

	積算内訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		102,109
人件費		25,284
修繕費	維持管理運営費用修繕費	6,450
設備管理費・保安警備費	機械運転・圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	25,528
備品購入費・消耗品費	用具等貸出備品ほか	1,512
外構・植栽管理費・廃棄物処理	敷地内樹木剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	245
広報費・印刷費	新聞折込み等・リーフレット印刷等	0
光熱水費	電気代・ガス代・水道代	22,404
保険料	施設賠償責任保険、スポーツ傷害補償保険	0
使用料・賃借料	券売機等リース、NHK放送受信料ほか	741
委託料・謝金	現金集配業務、ホームページ作成	17,187
公租公課費	消費税、収入印紙	2,449
旅費	巡回交通費等	0
会議賄い費	プール運営会議(12回)	0
通信運搬費	電話料・インターネット通信料・切手代ほか	293
支払手数料	振込手数料ほか	0
会費及び負担金	職員研修費ほか	0
事務経費本部分	本部経費	16
その他		0

共同事業体名	KSSC横浜ウォータープロモーション		
施設名	横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール		
収支決算書(港南プール)			
4 自主事業・収入の部(令和2年度)			
	内 訳	合計金額 (千円、税込み)	
② 自主事業収入		905	
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	スポーツ教室事業収入	0
	飲食事業	なし	0
	物販事業(自動販売機)	自動販売機	539
	物販事業(レンタル)	なし	0
	物販事業(物品販売)	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	304
	利用料金収入(時間外)	なし	0
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	駐車場:時間外利用	0
	その他(目的外使用料還付)		62

共同事業体名		KSSC横浜ウォータープロモーション	
施設名		横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール	
収支決算書(港南プール)			
4 自主事業・支出の部(令和2年度)			
		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			404
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	スポーツ教室事業支出	0
	飲食事業	なし	0
	物販事業(自動販売機)	自動販売機 目的外使用料、電気代	258
	物販事業(レンタル)	なし	0
	物販事業(物品販売)	商品仕入れ、目的外使用料	146
	施設利用(時間外)	なし	0
	施設利用(駐車場)(時間外)	委託料	0
	その他		0

収支決算書(保土ヶ谷プール)

1 保土ヶ谷プール総括表

(1)収入 ※ 指定管理料を除いた金額 (千円、税込み)

項目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計	備考
①施設運営収入 (A)	0	0	0	0	0	105	
利用料金収入		0					
利用料金収入(駐車場)		0					
スポーツ教室等事業収入		0					
文化系教室収入		0					
託児事業収入		0					
広告業務収入		0					
その他		16					
②自主事業による収入	0	0	0	0	0	180	
スポーツ教室等事業(時間外)		0					
飲食事業		0					
物販事業		467					
利用料金収入(時間外)		0					
利用料金収入(駐車場)(時間外)		0					
その他		0					
合計(①+②)	0	0	0	0	0	285	

(※令和2.4~令和3.3休業)

(2)支出 (千円、税込み)

項目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計	備考
③維持管理運営費用 (B)	0	21	0	0	0	21,298	
人件費		2,300					
修繕費		1,686					
設備管理費・保安警備費		182					
備品購入費・消耗品費		0					
外構・植栽管理費・廃棄物処理費		2					
広報費・印刷製本費		0					
光熱水費・燃料費		3,590					
保険料		19					
使用料・賃借料		410					
委託料・謝金		330					
公租公課		1,398					
旅費		0					
会議賄い費		2					
通信運搬費		105					
支払手数料		0					
会費及び負担金		15					
事務経費本部分		504					
その他		0					
④自主事業による経費	0	42	0	0	0	42,240	
スポーツ教室等事業(時間外)		0					
飲食事業		0					
物販事業		42					
利用料金収入(時間外)		0					
利用料金収入(駐車場)(時間外)		0					
その他		0					
合計(③+④)	0	64	0	0	0	63,538	

(※令和2.4~令和3.3休業)

(3) 指定管理料 (千円、税込み)

項目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計	備考
指定管理料	0	21,505	0	0	0	21,505	

収支決算書(保土ヶ谷プール)

2 指定管理・収入の部(令和2年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			424
利用料金収入			0
項 目	プール(個人)		0
	多目的室(個人)		0
	プール(団体)		0
	多目的室(団体)		0
	附帯設備利用料金		0
利用料金収入(駐車場)			0
スポーツ教室等事業収入			0
文化系教室収入			0
託児事業収入			0
広告業務収入			0
その他			424

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			424
指定管理料 (B)			21,505
収入合計 (A)+(B)			21,929

共同事業体名	KSSC横浜ウォータープロモーション
施設名	横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支決算書(保土ヶ谷プール)

3 指定管理・支出の部(令和2年度)

	積算内訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		10,541
人件費		2,300
修繕費	維持管理運営費用修繕費	1,686
設備管理費・保安警備費	機械運転・圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	182
備品購入費・消耗品費	水着脱水機、用具等貸出備品ほか	0
外構・植栽管理費・廃棄物処理	敷地内樹木剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	2
広報費・印刷費	新聞折込み等	0
光熱水費	電気代・ガス代・水道代	3,590
保険料	施設賠償責任保険、スポーツ傷害補償保険	16
使用料・賃借料	券売機等リース、NHK放送受信料ほか	410
委託料・謝金	現金集配業務、ホームページ作成	330
公租公課費	消費税、収入印紙	1,398
旅費	巡回交通費等	0
会議賄い費	プール運営会議	2
通信運搬費	電話料・インターネット通信料・切手代ほか	105
支払手数料	振込手数料ほか	0
会費及び負担金	職員研修費ほか	15
事務経費本部分	本部経費	504
その他		0

共同事業体名		KSSC横浜ウォータープロモーション	
施設名		横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール	
収支決算書(保土ヶ谷プール)			
4 自主事業・収入の部(令和2年度)			
		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			467
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	スポーツ教室事業収入	0
	飲食事業	なし	0
	物販事業(自動販売機)	自動販売機	467
	物販事業(レンタル)	シューズほか	0
	物販事業(物品販売)	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	0
	利用料金収入(時間外)	団体コース貸し	0
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	なし	0
	その他		0

共同事業体名	KSSC横浜ウォータープロモーション
施設名	横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支決算書(保土ヶ谷プール)

5 自主事業・支出の部(令和2年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			43
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	スポーツ教室事業支出	0
	飲食事業	なし	0
	物販事業(自動販売機)	自動販売機 目的外使用料、電気代	0
	物販事業(レンタル)	なし	42
	物販事業(物品販売)	商品仕入れ、目的外使用料	0
	施設利用(時間外)	職員人件費、光熱水費	0
	施設利用(駐車場)(時間外)	なし	0
	その他		0

収支決算書(金沢プール)

1 金沢プール総括表

(1)収入 ※ 指定管理料を除いた金額。 (千円、税込み)

項目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計	備考
①施設運営収入 (A)	0	86,924	0	0	0	86,924	
項目	利用料金収入	18,257					
	利用料金収入(駐車場)	5,493					
	スポーツ教室等事業収入	3,589					
	横浜市による運営支援(休館期間)	15,874					
	横浜市による運営支援(利用再開後)	43,711					
	文化系教室収入	0					
	託児事業収入	0					
	広告業務収入	0					
	その他	0					
②自主事業による収入	0	1,937	0	0	0	1,937	
項目	スポーツ教室等事業(時間外)	0					
	飲食事業	763					
	物販事業	624					
	利用料金収入(時間外)	0					
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	0					
	その他(目的外使用料還付)	550					
合計(①+②)	0	88,862	0	0	0	88,862	

(2)支出 (千円、税込み)

項目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計	備考
③維持管理運営費用(B)	0	105,519	0	0	0	105,519	
項目	人件費	34,918					
	修繕費	7,550					
	設備管理費・保安警備費	16,438					
	備品購入費・消耗品費	1,443					
	外構・植栽管理費・廃棄物処理費	188					
	広報費・印刷製本費	0					
	光熱水費・燃料費	24,396					
	保険料	86					
	使用料・賃借料	2,317					
	委託料・謝金	14,782					
	公租公課	3,045					
	旅費	0					
	会議賄い費	0					
	通信運搬費	311					
	支払手数料	29					
	会費及び負担金	0					
事務経費本部分	16						
その他	0						
④自主事業による経費	0	2,249	0	0	0	2,249	
項目	スポーツ教室等事業(時間外)	0					
	飲食事業	1,654					
	物販事業	595					
	利用料金収入(時間外)	0					
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	0					
その他	0						
合計(③+④)	0	107,768	0	0	0	107,768	

(3)指定管理料 (千円、税込み)

項目	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計	備考
指定管理料	0	14,067	0	0	0	14,067	

共同事業体名	KSSC横浜ウォータープロモーション
施設名	横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支決算書(金沢プール)

2 指定管理・収入の部(令和2年度) ※指定管理料を除く

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			27,339
利用料金収入			18,257
項 目	プール(個人)		14,869
	浴場(個人)		1,415
	プール・浴槽(個人)セット券		1,048
	多目的室(個人)		0
	プール(団体)		0
	多目的室(団体)	1,500件 × 500円/h	102
	附帯設備利用料金		824
利用料金収入(駐車場)		基本会館時間内実施分	5,493
スポーツ教室等事業収入		基本会館時間内実施分	3,589
文化系教室収入			0
託児事業収入		基本会館時間内実施分	0
広告業務収入		自販機設置業者広告ポスター収入	0
その他		自主事業還元収入(自主事業利益の充当額)	0

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			27,339
指定管理料 (B)			14,067
収入合計 (A)+(B)			41,406

共同事業体名	KSSC横浜ウォータープロモーション
施設名	横浜市保土ヶ谷プール・港南プール・金沢プール

収支決算書(金沢プール)

2 指定管理・支出の部(令和2年度) ※指定管理料を除く

	積算内訳	合計金額 (千円、税込み)	
③ 維持管理運営費用		105,490	
項 目	人件費	34,918	
	修繕費	維持管理運営費用修繕費	7,550
	設備管理費・保安警備費	機械運転・圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	16,438
	備品購入費・消耗品費	水着脱水機、用具等貸出備品ほか	1,443
	外構・植栽管理費・廃棄物処理	敷地内樹木剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	188
	広報費・印刷費	新聞折込み等	0
	光熱水費	電気代・ガス代・水道代	24,396
	保険料	施設賠償責任保険、スポーツ傷害補償保険	86
	使用料・賃借料	券売機等リース、NHK放送受信料ほか	2,317
	委託料・謝金	現金集配業務、ホームページ作成	14,782
	公租公課費	消費税、収入印紙	3,045
	旅費	巡回交通費等	0
	会議賄い費	プール運営会議(12回)	0
	通信運搬費	電話料・インターネット通信料・切手代ほか	311
	支払手数料	振込手数料ほか	0
	会費及び負担金	職員研修費ほか	0
	事務経費本部分	本部経費	16
	その他		0

共同事業体名		KSSC横浜ウォータープロモーション	
施設名		横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール	
収支決算書(金沢プール)			
4 自主事業・収入の部(令和2年度)			
		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			1,937
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	スポーツ教室事業収入	0
	飲食事業	レストラン運営収入	763
	物販事業(自動販売機)	自動販売機	0
	物販事業(レンタル)		0
	物販事業(物品販売)	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	624
	利用料金収入(時間外)		0
	利用料金収入(駐車場)(時間外)		0
	その他(目的外使用料還付)		550

共同事業体名		KSSC横浜ウォータープロモーション	
施設名		横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール	
収支決算書(金沢プール)			
5 自主事業・支出の部(令和2年度)			
		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			2,622
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	スポーツ教室事業支出	0
	飲食事業	レストラン運営経費(人件費、材料費、光熱水費など) 目的外使用料	1,654
	物販事業(自動販売機)	自動販売機 目的外使用料、電気代	372
	物販事業(レンタル)		0
	物販事業(物品販売)	商品仕入れ、目的外使用料	595
	施設利用(時間外)	職員人件費(受付・清掃)、光熱水費等	0
	施設利用(駐車場)(時間外)	駐車場管理業務委託(固定収益契約)	0
	その他		0

別紙1

港南プール 令和2年9-10月水泳教室 申し込み状況							
大人				小人			
		定員	合計人数			定員	合計人数
月	初級	5	5人	月	A-2	5	5人
月	中上級	5	5人	月	A-1	5	2人
火	上級	5	5人	火	B-2	5	3人
火	中上級	5	5人	火	B-1	5	2人
火	中級	5	5人	水	A-1	5	5人
火	中上級	5	5人	水	B-2	5	5人
水	初級	5	5人	木	B-2	5	2人
水	上級	5	5人	木	B-1	5	5人
木	中級	5	5人	金	A-2	5	5人
木	最上級	5	5人	土	A-2	5	3人
金	中上級	5	3人	土	A-1	5	6人
金	上級	5	5人		合計	55	43人
金	中級	5	5人				
金	初級	5	5人				
土	中級	5	5人		充足率		
	合計	75	73人		水泳 (大人)	97%	
					水泳 (小人)	78%	

別表2

港南プール 令和2年11-12月水泳教室 申し込み状況							
大人				小人			
		定員	合計人数			定員	合計人数
月	初級	8	7人	月	A-2	8	5人
月	中上級	8	8人	月	A-1	8	2人
火	上級	8	4人	火	B-2	8	3人
火	中上級	8	8人	火	B-1	8	3人
火	中級	8	2人	水	A-1	8	7人
火	初級	8	6人	水	B-2	8	2人
火	中上級	8	7人	木	B-2	8	3人
火	中級	8	3人	木	B-1	8	4人
水	初級	8	8人	金	A-2	8	5人
水	上級	8	8人	金	A-1	8	1人
木	中級	8	8人	土	A-2	8	5人
木	初級	8	8人	土	A-1	8	4人
木	最上級	6	5人		合計	96	44人
金	中上級	8	3人				
金	上級	8	3人				
金	中級	8	4人				
金	中級	8	4人				
金	中級	8	5人				
金	初級	8	5人		充足率		
土	中級	8	8人		水泳 (大人)	72%	
	合計	158	114人		水泳 (小人)	46%	

別表3

港南プール 令和3年1-3月水泳教室 申し込み状況							
大人				小人			
		定員	合計人数			定員	合計人数
月	健康増進水中運動	10	5人	月	A	16	7人
月	中上級	8	8人	火	B	16	3人
火	上級	8	4人	火	C	8	3人
火	中上級	8	6人	水	A	16	6人
火	中級	5	5人	木	B	16	10人
火	初級	5	5人	金	A	16	7人
火	中上級	8	5人	金	C	8	3人
火	中級	8	8人	土	A	16	8人
水	初級	8	8人		合計	112	47人
水	上級	8	8人				
木	中級	8	8人				
木	初級	8	8人				
木	最上級	6	6人				
金	中上級	8	6人				
金	上級	8	5人				
金	初級	8	3人				
金	中級	8	4人				
金	中級	8	5人				
金	初級	8	6人				
土	中級	8	8人				
	合計	154	121人				
					充足率		
					水泳 (大人)	79%	
					水泳 (小人)	42%	

別表4

金沢プール 令和2年9-10月水泳教室 申し込み状況							
大人				小人			
		定員	合計人数			定員	合計人数
月	日替わり水中運動	5	5人	月	小学生B	5	5人
月	ワンコインスイム	5	5人	火	小学生A	5	5人
火	平泳ぎ&バタフライ	5	5人	水	小学生A	5	5人
火	プライベートレッスン	2	2人	水	小学生B	5	5人
水	4泳法マスター	5	5人	木	小学生C	5	3人
水	平泳ぎ&バタフライ	5	5人	木	小学生D	5	2人
木	クロール&背泳ぎ	5	5人	金	小学生A	5	5人
木	ロングスイム	5	3人		合計	35	30人
金	はじめて水泳	5	5人				
金	クロール&背泳ぎ	5	5人				
	合計	47	45人		充足率		
					水泳 (大人)	96%	
					水泳 (小人)	86%	

別表5

金沢プール 令和2年11-12月水泳教室 申し込み状況							
大人				小人			
		定員	参加人数			定員	参加人数
月	水中運動&筋トレ	8	8人	月	小学生A	16	15人
月	プライベートレッスン	2	11人	月	小学生B	8	7人
月	水中運動&筋トレ	8	8人	月	小学生C/D	8	5人
火	平泳ぎ&バタフライ	8	8人	火	小学生A	16	9人
火	プライベートレッスン	16	12人	火	小学生B	8	3人
水	4泳法マスター	8	8人	水	小学生A	16	9人
水	プライベートレッスン	16	7人	水	小学生B	8	8人
水	平泳ぎ&バタフライ	8	8人	木	小学生A	16	13人
木	クロール&背泳ぎ	8	8人	木	小学生B	8	3人
木	プライベートレッスン	16	6人	木	小学生C/D	8	3人
木	ロングスイム	8	7人	金	小学生A	16	14人
金	はじめて水泳	8	6人	金	小学生B	8	5人
金	プライベートレッスン	16	7人	金	小学生C/D	8	4人
金	クロール&背泳ぎ	8	8人		合計	104	94人
	合計	138	112人		充足率		
					水泳 (大人)	81%	
					水泳 (小人)	90%	

別表6

金沢プール 令和2年9-10月水泳教室 申し込み状況							
大人				小人			
		定員	合計人数			定員	合計人数
月	日替わり水中運動	5	5人	月	小学生B	5	5人
月	ワンコインスイム	5	5人	火	小学生A	5	5人
火	平泳ぎ&バタフライ	5	5人	水	小学生A	5	5人
火	プライベートレッスン	2	2人	水	小学生B	5	5人
水	4泳法マスター	5	5人	木	小学生C	5	3人
水	平泳ぎ&バタフライ	5	5人	木	小学生D	5	2人
木	クロール&背泳ぎ	5	5人	金	小学生A	5	5人
木	ロングスイム	5	3人		合計	35	30人
金	はじめて水泳	5	5人		充足率		
金	クロール&背泳ぎ	5	5人		水泳 (大人)	96%	
	合計	47	45人		水泳 (小人)	86%	

別表7

金沢プール 令和2年度スタジオ教室 申し込み状況							
9-10月				1-3月			
大人				大人			
		定員	合計人数			定員	合計人数
月	初めてのヨガ	13	5人	月	初めてのヨガ	13	3人
火	骨盤ヨガ	13	10人	火	骨盤ヨガ	13	10人
水	ピラティスヨガ	13	8人	水	ピラティスヨガ	13	10人
木	フラダンス	13	3人	木	フラダンス	13	4人
金	初めてのヨガ	13	3人	金	初めてのヨガ	13	5人
土	朝ヨガ	13	6人	土	ベーシックヨガ	13	6人
日	リラックスヨガ	13	6人	日	リラックスヨガ	13	5人
	合計	91	41人		合計	91	43人
11-12月							
大人							
		定員	合計人数				
月	初めてのヨガ	13	5人	充足率			
火	骨盤ヨガ	13	11人	スタジオ (大人)		49%	
水	ピラティスヨガ	13	13人				
木	フラダンス	13	3人				
金	初めてのヨガ	13	6人				
土	朝ヨガ	13	6人				
日	リラックスヨガ	13	7人				
	合計	91	51人				